

## 2. 「21世紀COEプログラム」

—世界的研究教育拠点の形成のための重点的支援—

平成18年度 予定額 378億円  
(平成17年度 予算額 382億円)

第三者評価による競争原理の導入により、国公私立大学を通じ、優れた研究教育拠点に重点支援を行い、世界最高水準の大学づくりを推進する。

○経緯：

- 大学の構造改革の方針(平成13年6月)—
- ☆ 国立大学の再編・統合
- ☆ 国立大学の法人化
- ☆ 第三者評価による競争原理の導入  
⇒平成14年度より  
「21世紀COEプログラム」の創設

○実績：

### ・事業の概要

審査：省外の「21世紀COEプログラム委員会」が公平・公正な第三者評価を実施  
対象：各大学の全学的な観点からの拠点形成計画  
期間：5年間(2年経過後に、中間評価を実施)

### ・採択状況 (：93大学274件)

14年度 公募	【生命科学】、【化学、材料化学】、【情報、電気、電子】、 【人文科学】、【学際、複合、新領域】	(実績) ・申請163大学464件 ・採択 50大学113件
15年度 公募	【医学系】、【数学、物理学、地球科学】、【機械、土木、建築、 その他工学】、【社会科学】、【学際、複合、新領域】	(実績) ・申請225大学611件 ・採択 56大学133件
16年度 公募	【革新的な学術分野】	(実績) ・申請186大学320件 ・採択 24大学 28件

### 《期待される効果》

- 国公私立大学を通じた競争的環境の醸成
- 世界トップレベルの大学と伍する教育研究活動の活性化
- 我が国の研究水準の向上
- 学長を中心とした全学的観点からの大学づくり など

↓  
引続き積極的な推進

○平成18年度の計画：

- **研究教育拠点の着実な形成**  
(拠点形成の充実強化のため、中間評価を経た平成14、15年度採択拠点に間接経費を措置)
- **平成16年度採択の研究教育拠点に対する中間評価の実施**

※本プログラムは、大学関係者、産業界等から、大学全体の活性化に極めて有効との評価